



感動と勇気を呼び起こす、 小さな町のラジオ局の物語

それでも、もう一度、みなさんを応援したい。

2011年3月11日、東北地方を襲った東日本大震災。
宮城県南三陸町も津波で大きな被害を受けました。
それから2カ月後、被災地となった町に、自らも被災者である地元メンバーにより、
防災や避難情報を届ける1年間限定の災害ラジオ局
「FMみなさん」が誕生しました。
ラジオを通して一人でも多くの人に笑顔を届けたい。
その思いがスタッフたちを支えていました。

この映画は「FMみなさん」のスタッフとリスナー、彼らが生きる南三陸町の
1年間を追って撮影されたもので、作り手と出演者がそれぞれの立場から
震災後を共に歩みながら完成しました。
劇場公開終了後も、震災の風化防止や被災地域の応援を
目的として、上映会という形で全国を回ってきました。

しかし、2014年3月、この映画について発表された報道を
受けて、本作は上映の中止という苦渋の選択に踏み切ります。

ですがその後、出演者や南三陸町の皆様、上映会主催者や映画を
見て下さった方々により上映再開を望む声に支えられ、
2014年10月に再出発することになりました。

かけがえのない人や思い出を失った痛みは計り知れないものです。
それでも、生まれ育った土地に根をおろし、泣いたり笑ったりしながらも
力強く生きる人々の記録と再生のプロセスは、今この瞬間も、そしてこれから先も
人々の記憶に色濃く残されていくことでしょう。

私たち「みなと座」は、このような制作側の思い、そして公開当時、復旧復興の真っただ中にいた地域
の方々が映画を観賞する時間もなかなか取れなかったという声にお応えし、町民有志の上映会を企
画致しました。あの日から13年が経過しました。今だからこそ皆さんと在りし日を懐かしみ、時には
共に涙を流したりしながら、明日への活力に繋がる時間を過ごして頂けましたら幸いです。

主催：みなと座実行委員会（会長 高橋長晴）

- 後援：南三陸町、南三陸商工会、宮城県漁業協同組合志津川支所、宮城県漁業協同組合歌津支所、
南三陸森林組合、JA新みやぎ南三陸統括部
- 協力：ワンダーラボラトリー、一般社団法人南三陸町観光協会、株式会社南三陸まちづくり未来、
南三陸町中小企業・小規模事業者等振興基本条例円卓会議
- 協賛：株式会社カネキ吉田商店、株式会社阿部伊組、高野グループ、南三陸町金融組合、
株式会社ヤマウチ、株式会社ダイチョウ、彩プロジェクト
- 問合せ：電話 080-8999-3659(高橋) メール 373minatoza@gmail.com